

令和 8 年度第 5 回教育委員会定例会 会議録

◇ 開催年月日 令和 8 年 8 月 2 0 日（木） 1 5 時 1 5 分開会
1 6 時 2 5 分閉会

◇ 開催の場所 女性第一・第二研修室

◇ 出席者

教育長	原之園 哲哉
委員	津曲 貞利
委員	岡本 尚也
委員	福元 佑子

◇ 説明のため出席した者の職氏名

管理部長	小村 真二	教育部長	鶴田 紋太郎
学校整備推進担当部長	岩坪 秀樹	総務課長	藤崎 圭規
学校整備推進課長	角之上 知樹	施設課長	中島 祥太
文化財課長	有村 久美子	美術館副館長	谷口 雄三
図書館副館長	小城 裕子	学務課長	山元 卓也
学校教育課長	竹下 直大	学校 ICT 推進センター所長	池田 伸一
保健体育課長	田丸 武彦	学校給食担当課長	徳丸 仁
児童生徒支援課長	山中 裕美	生涯学習課長	中村 一成
少年自然の家所長	小山 洋見	中央学校給食センター所長	濱田 有希

◇ 書記

総務課主幹	圓若 正行	総務課主事	坂元 快成
-------	-------	-------	-------

◇ 議事日程

- 1 開 会
- 2 会議成立の宣言
- 3 会議録署名者の指名
- 4 会議の公開等について
- 5 議案審査順

公開

- 定第 2 4 号議案 代決処分の承認を求める件
[鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について]
- 定第 2 5 号議案 鹿児島市立学校における学校運営協議会設置規則一部改正の件
報告事項(3) 令和 8 年度「全国学力・学習状況調査」結果について
報告事項(4) 市立高等学校学科別希望者数（7 月）及び最終合格者数（3 月）
の状況について

非公開

- 定第 2 7 号議案 鹿児島市立学校条例一部改正に係る議案についての意見に関する
件
- 定第 2 8 号議案 鹿児島市立高等学校授業料等に関する条例一部改正に係る審議に
ついての意見に関する件
- 定第 2 9 号議案 特定事業契約締結に係る議案についての意見に関する件
- 定第 3 0 号議案 タブレット端末購入に係る議案についての意見に関する件
- 定第 3 1 号議案 令和 8 年度鹿児島市一般会計補正予算（第 2 号）（教育委員会関係
分）に係る議案についての意見に関する件
- 定第 3 2 号議案 令和 7 年度鹿児島市一般会計歳入歳出決算（教育委員会関係分）
に係る議案についての意見に関する件
- 報告事項(1) 第二次鹿児島市教育振興基本計画改定版（素案）に係るパブリッ
クコメント手続きの実施について
- 報告事項(5) 鹿児島市教育 D X 推進ビジョン（素案）に係るパブリックコメン
ト手続きの実施について
- 報告事項(2) 屋内運動場の空調設備について
- 定第 2 6 号議案 教科用図書採択の件（鹿児島市立高等学校）

- 6 その他
- 7 閉 会

◇ 会議要旨

1 開会

教育長 ただいまから、令和8年度第5回教育委員会定例会を開会します。

2 会議成立の宣言

教育長 議事に入ります。本日は、前田委員が欠席されておりますが、定足数に達していますので、会議は成立しています。本日の議事日程は、資料の2ページをご覧ください。

3 会議録署名者の指名

教育長 本日の会議録署名は、岡本委員と私が行います。

4 会議の公開等について

教育長 会議の非公開についてですが、本日審議する、9つの議案及び5つの報告事項のうち、定第27号議案から32号議案、報告事項(1)、(2)、(5)は、意思形成過程の案件のため、非公開で傍聴を禁止し、定第26号議案は教科用図書採択の案件のため、非公開で傍聴を禁止し、関係部課長のみの出席とする取り扱いとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

教育長 ご異議もないので、そのように取り扱います。それでは、公開案件からご審議いただき、後ほど非公開案件の審議をお願いします。傍聴について、委員の皆さんにお諮りします。事務局に確認しますが、本日、傍聴を希望される方はいますか。

事務局(企画調整係長) 傍聴及び撮影を希望される方が1名いらっしゃいます。傍聴希望者の住所及び氏名を読み上げます。

教育長 事務局から傍聴希望者の読み上げがありました。希望者の傍聴及び撮影を許可することにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

教育長 ご異議もございませんので、傍聴及び撮影を許可することとします。事務局は傍聴人を入室させてください。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

5 定第24号議案 代決処分の承認を求める件

〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕

承認

教育長 それでは、定第24号議案につきまして、総務課長、説明をお願いいたします。

す。

事務局（総務課長） 議案綴りの3ページをご覧ください。定第24号議案、代決処分の承認を求める件は、鹿児島市教育委員会の事務局及び教育機関の職員の任免について、参照にありますように事務委任等規則第4条第1項の規定に基づき、代決いたしましたので、同条第2項の規定により、これを報告し、教育委員会の承認を得ようとするものでございます。内容につきましては、4ページをご覧ください。8月1日付で、4名の職員の異動を行ったところでございます。説明は以上でございます。

教育長 ただいまの説明について、何かご質問等はございませんか。

（なしの声あり）

教育長 なければ、定第24議案につきましては、原案どおりとすることでご異議ございませんか。

（異議なしの声）

教育長 ご異議ございませんので、本件は原案どおりとします。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第25号議案 鹿児島市立学校における学校運営協議会設置規則一部改正の件

原案可決

教育長 続きまして、定第25号議案につきまして学務課長、説明をお願いします。

事務局（学務課長） 議案つづりの5ページをご覧ください。定第25号議案、鹿児島市立学校における学校運営協議会設置規則一部改正の件について、ご説明いたします。6ページの改正理由をご覧ください。公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴いまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5、学校運営協議会部分に改正があり、学校における働き方改革の一層の推進及び教職員の健康確保を図るため、学校運営協議会を設置する学校においては、学校運営協議会の承認を得る学校運営に関する基本的な方針、これは校長が作成することになりますが、この方針に教職員の業務量管理及び健康確保措置に関する事項を位置付ける必要が出てきたことによるものでございます。施行期日は令和8年9月1日からでございます。7ページには新旧対照表がございますので、お目通しをお願い致します。以上で説明を終わります。

教育長 ただいまの説明について、何かご質問等はございませんか。

（なしの声あり）

教育長 なければ、定第25号議案につきましては、原案どおりとすることでご異議ございませんか。

（異議なしの声）

教育長 ご異議ございませんので、本件は原案どおりとします。



報告事項(3) 令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果について

教育長 続きまして、報告事項（3）につきまして学校教育課長、説明をお願いします。

事務局（学校教育課長） 資料の8ページをご覧ください。令和8年度「全国学力・学習状況調査」の結果について、ご報告いたします。1、2の調査日・調査学年・教科についてはご覧ください。本年度は、中学校英語がC B T、コンピューターでタブレットを活用した調査で実施されました。また、同時に生活習慣や学習環境等に関する質問調査も行われました。3の(1)、教科に関する調査結果について、ご覧ください。本市の欄と、国との比較をそれぞれ見てください。小学校の国語、算数、中学校の国語は、いずれも全国平均を上回っております。中学校数学で正答率を見ると、全国と比べて2ポイント下回っており、【】で示されている平均正答数を比べると、市は16問中8.8問、国は16問中9.1問ということで、0.3問とやや下回っていることが分かります。英語については、こちらも【】で、正答数が0.1問下回っていました。なお、英語につきましては、本年度からタブレットを活用した調査となり従来の正答率ではなく問題の難易度を考慮した能力値、いわゆるI R Tスコアの表示となっております。このI R Tスコアは、500点を基準に作成されていますので国との差というものがマイナス10ポイントとなっておりますが、今後I R Tスコアの考え方などの分析を進めて対応を検討してまいりたいと思います。次に（2）をご覧ください。過去5年間の国との差を示しております。中学校の数学の欄を横に見ていただきますと、本市においては中学校の数学が例年の課題であると捉えております。9ページの4をご覧ください。本市における算数・数学の正答数分布グラフです。小学校では、全国に比べ平均正答率の高いものの、小学校においては中位層が多く、太い実線で示しているのが全国ですが、それと比べると上位層の16問、15問できている子どもは少ないというような小学校の実態です。このことから小学校の授業というのは、中位層の子を対象に、どの子も満遍なくという授業であることがわかります。一方、中3を見てもみますと、小学校での中位層の子が上位にくるのではなく、やや下位層が多いことが分かります。これらのことから、小学校の中位層の子どもが中学校で伸び悩み、下位層に移行した結果、このようになっているのではないかと思います。また、中学校数学においては、16問中12問が、知識・技能を問う問題でしたが、そのうち全国の正答率を上回っている問題は、わずか3問でした。中学校において、知識・技能の確実な数学の問題を解けるかどうかというところに大きな課題があるのではないかと考えております。これらを踏まえ、今後の対応といたしましては、管理職、数学科主任等を中心とした算数・数学

科学力向上プロジェクトチームを発足させたいと思っております。また大学教授のアドバイスもいただきながら、根本的な算数・数学に対する学力向上に向けた研究・具体策を考えて指導して参りたいと思っております。また、知識・技能の方に課題があることからデジタルドリルを徹底的に活用すると同時に、活用して学力下位層の生徒への基礎的・基本的な知識・技能の習得を徹底するとともに、上位層へ向けて、より難易度の高い「プラスワン課題」を、生成AI等を活用しながら準備し、授業終末10分の活動の一層の充実を図りたいと思います。さらに、鹿児島市の学力調査は、小学校4年生と中学校1年で行います。次、県の学力調査は、小学校5年生と中学校2年生で行います。今回報告している「全国学力・学習状況調査」は、小学校6年生と中3で行うということで、小4～小6、中1～中3まで継続した分析と具体的な取組を行う分析シートを学校へ作成させ、それを市教委で集約しながら数年間を通した学力向上への取組を今後進めてまいりたいと思っております。報告は以上でございます。

教育長 ただいまの説明について、何かご質問等はございませんか。

委員 この分布グラフの分析は非常にいい分析だなと思っていて、中学校数学で見ると、国のところは14問くらいのところにピークがありますよね。鹿児島県に関して言うと、そのピークのところが、少し降りて5問のところにあって、鹿児島市は、その中間的な数値になってますよね。これは都道府県別にみたら結構明らかで、大都市圏の子たちがこの14問ぐらいのピークを作っている感じだと思います。分析内容で見ると、反復練習などが足りていないところが中学校になってから顕著に出てきているのだろーと思います。数学とか理科に関して言うとこれからの社会において非常に重要な部分になってきますので、問題が解けるというのもいいかもしれないですけど、それにプラスで、こういう勉強が今後どう繋がっていくのかということも含めて理解が進むと良いと思います。数学でいうと、計算できるからいいじゃなくて、計算ができるようになった後に、数学的な思考力がどう生かされるのかということでは、中学校や高校くらいからやってもらえたらいいかなと思いました。

事務局（学校教育課長） 委員が言われましたように、この最大値を比べた時に驚いたのですが、とにかく鹿児島県の中学校数学の最大値が5問のところにある、それに対して全国の最大値は14問のところにあるということで、鹿児島県全体の算数・数学に対する授業を抜本的に改善しないと伸びないのではないかなと思い、今回現場の先生方の意識改革を始める必要があるということで、プロジェクトチームを発足させていきたいと考えております。また、中学校の数学はやはり受験数学と言われるように、とにかく1時間でどこまで進むというのがあるんですけども、そこにもっとメリハリがないといけないのかなと思っています。どの時間も満遍なくというのではなく、大事なところを集中して教えるなど、指導法改善とか数学に対する考え方を先生たち自身が意識改革していかないといけないと思います。鹿児島市・鹿児島県の数学は、国に遅れをとっていますので、そこをこなしていけないと伸びていけないのかなと思っています。

委員 余談ですが先日、東大の方と、A I がこれだけ発達してきている中で、学校の教員の役割はどうなっていくかという議論になったんですよ。最終的には分野の面白さみたいなところをどれだけ生徒に伝えられるかがポイントになるみたいな話をしました。例えば数学であれば、やる気さえあれば問題は解けるようになるなかで、そのやる気の部分をどうやって教員の方で引き出していけるか、「勉強して楽しい」とか「勉強してこういうふうになっていくなんだろうな」というところを最初の部分として持たせてあげて、その後のテクニカルな部分は、最近いろんな教材も出てきていますので、ぜひその辺りの「数学を何のためにやっているのか」とか「どこがおもしろいのか」と児童生徒が感じられるような役割も教員の皆さんには併せてお願いできればと思います。

事務局（学校教育課指導主事） 来週、東京大学の副学長をお呼びして、教育講演会等を実施する予定です。先生方には午後から、中高生には午前中、先生のお話を聞いてもらって、数学とか国際化とかそういう方面により興味をもってもらおうというような取り組みを図っているところです。

教育長 ほかにございませんか。
（なしの声あり）

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

報告事項(4) 市立高等学校学科別希望者数（7月）及び最終合格者数（3月）の状況について

教育長 続きまして、報告事項（4）について学校教育課長、説明をお願いします。

事務局（学校教育課長） 10ページをご覧ください。報告事項（4）市立高等学校学科別希望者数及び最終合格者数について、ご報告いたします。表の一番右の列をご覧ください。太枠網掛け部分は、令和9年度入試の7月時点の市立高等学校希望者数の状況を示しております。玉龍高校の希望者は、定員240人に対して302人、倍率は1.26倍です。ただし、この302人には玉龍中学校からの進学希望者が計上されていますので、玉龍中学校からの進学希望者を除いた純粋に高校から入学を希望する者の倍率は1.5倍となっております。商業高校は、大学科として商業科の希望者は、240人に対して235人、0.98倍、体育科の希望者は40人に対して73人、1.83倍でした。女子高校は、大学科として商業科の希望者は、160人に対して49人の0.31倍、家庭科の希望者は、160人に対して99人の0.62倍という結果です。表の右から2列目の太枠部分は、令和8年3月における市立高等学校の最終合格者数の状況を示しております。今年度の県全体の中学校等卒業予定者数は、約14,500人と、昨年度からほとんど変わっておりませんが、今年の特徴として、公立高校の希望者は約350人減少しております。一方で、私立・高専・通信制課程の希望者も増えており、生徒の学びに対するニーズの

多様化がはっきり分かる状況でございました。以上で報告を終わります。

教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問等はございませんか。

委員 R 9 と書いてあるのが今年のことですか。

事務局（学校教育課長） 令和 9 年度に向けた入試という意味になります。

委員 なるほど。ちょっと厳しくなってきましたね。今、全国的に起こっているのが、なかなか言い方が難しいんですけど、中位層の学校が無償化の影響をすごく受けているということがあって、商業や女子高がそれに類するかどうかわかりませんが、いろいろな都道府県が魅力化を謳って、見直しを行っているところだと思います。鹿児島市では、女子高も商業も学科再編して間もないですが、何か抜本的に学校のイメージも含めて変えていく必要があるのかなと思います。先手を打たないといけないので、県立高校が動く前に、市立の方でどういう手を打てるのか、既に学科再編をしているので、その中で他にどういう手があるのかということを考えた方がいいと思います。私の方でもまた何か良い情報があったら共有したいと思います。

委員 スケジュール的には、鹿児島商業の選択制は、この調査のタイミングでは出てなかったんですか。

事務局（学校教育課長） 出てないです。

委員 ですね。タイミングとしては今回は 1 回目の希望調査というか、そこでの数字だと思いますけども、次の調査等で、ある程度決定するのであればニュースリリースみたいなものは早めにしておく必要があるんじゃないかなと思います。そのあたりどうですか。

事務局（学校教育課長） この数値が、だいたい 7 月くらいに中学生にとったもので、商業が 7 月以降の学校説明会で単位制のことなどについて説明をしておりますので、この次くらいから徐々に、単位制についての認知度が上がってくるのではないかと考えております。

教育長 学務課長どうですか。

事務局（学務課長） 単位制については、新聞の方でも出されましたので、この 7 月の希望調査以降の機会には反映されるのではないかと思います。

委員 去年もでしたけど、決定してからのニュースリリースでは遅いので、今こんな風に進んでいて、決定した際にはまたお知らせしますというふうに、8 月でも少し遅いですが、今からでも間に合うと思って、できるだけ決定をする前に選択肢の中に加えてもらうようにするためにも、とにかく一刻も早く中学校や塾などもどんどん回りながら P R していく必要があるんじゃないかなと思います。9 月からは本格的に始まって、10 月にはほぼ決定していなければならないと思いますし、年内にはほぼ私学も決定するくらいの感じですからね。できるだけ早くやる必要があるのかなと思いますね。

教育長 そうですね。公立も頑張るようになってきていますが、やはり私学の P R 力はすごくて、宣伝もされていますからね。

委員 最近、学校や都道府県の教育委員会のいろんな案内を見たりするんですけど、風向きが変わってきていて、これまでは教育の P R の時には教育系のところが

入っていたんですけど、最近はメディア関係のところが入ってきたんですよ。内容もかなりポップな感じになっていて、今までの「こういうことやってます」とかだけじゃなくて、もっとワクワクするものを出してほしいというニーズが増えてきていると感じます。少し前までは、言葉が難しいですけど、教育系はダサいと言ったら悪いですけど、それが良い感じだったんですけども、最近はずごくポップな感じのデザインとか時代の変化を感じます。一点質問なんですけど、女子高は、どういう受け止めをしているのかなと。今、学科再編をして、数字としてはなかなか苦戦している中で、今後の方針などどういう方向性で議論されているんですか。

事務局（教育部長） 女子高は学科再編をして2年経ち、3年目を迎えようとしていますが、この数字を見ますと、やはり学科のことについては広まってきているものの、そこに魅力や子どもたちの学びに応じたものがあるかというところについては、私たちの方でも引き続き考えていかなければいけない状況になってきているというふうに捉えています。先程からありますように商業系の県内の状況を見ましても、女子高と似たような商業系学科を持っている学校も苦戦しているところもあります。一方、魅力化を図っている鹿児島市内の公立高校は、1.0倍を超えているところもありますので、まずは、生徒の選択肢の中に市立・私立高校の商業科、これは鹿児島市内にもたくさんございますが、最近の状況を見ますと、その中で公立高校を第1希望に選び、市立・私立は第2希望くらいにきているという現状があるように感じます。ただ商業高校のように情報などに特化した学びを提供することによって一定数、状況を維持しているところもございますので、今後そこは考えていかなければならない状況であると認識しているところです。

委員 学校側の受け止めもそういった感じですか。

事務局（教育部長） 学校としてもやはり今回のこの厳しい状況を受けて、制服も変わったりしているんですけども、そういう意味でのアピールというのはまだまだ足りない部分もあり、情報会計とかそういうところでの学びだけではなかなか難しいというのも学校で考えているところです。一方、家庭科の方の魅力については、一定程度の人数が集まっていますので、その辺りも少し考えていかなければならないということも学校と話す中では話題になっております。

委員 ありがとうございます。

教育長 ほかよろしいでしょうか。厳しいところもありますが、一生懸命取り組んではいます。インスタグラムも各学校でつくって、そういうところでもアピールするようになり、変わってきておりますので、今後もよろしくお願いします。（なしの声あり）

教育長 公開案件は、以上となります。それでは、これから非公開案件の議案審査に入りますので、傍聴人の方はご退席ください。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第 27 号議案 鹿児島市立学校条例一部改正に係る議案についての意見に関する件

原案可決

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第 28 号議案 鹿児島市立高騰学校授業料等に関する条例一部改正に係る議案についての意見に関する件

原案可決

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第 29 号議案 特定事業契約締結に係る議案についての意見に関する件

原案可決

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第 30 号議案 タブレット端末購入に係る議案についての意見に関する件

原案可決

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第 3 1 号議案 令和 8 年度鹿児島市一般会計補正予算（第 2 号）（教育委員会関係分）に係る議案についての意見に関する件

原案可決

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第 3 2 号議案 令和 7 年度鹿児島市一般会計歳入歳出決算（教育委員会関係分）に係る議案についての意見に関する件

原案可決

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

報告事項(1) 第二次鹿児島市教育振興基本計画改定版（素案）に係るパブリックコメント手続きの実施について

【 本 報 告 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

報告事項(5) 鹿児島市教育ＤＸ推進ビジョン（素案）に係るパブリックコメント手続きの実施について

【 本 報 告 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

報告事項(2) 屋内運動場の空調設備について

【 本 報 告 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第26号議案 教科用図書採択の件（鹿児島市立高等学校）

原案可決

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

6 その他

教育長 最後に、事務局から何かありますか。

教育長 次回の日程についてご連絡します。次回の教育委員会定例会は、9月30日（水）14時から、教育総合センター2階女性第一・第二研修室で開催を予定しています。また、総合教育会議が、同日15時30分から市役所本館2階特別会議室で開催されます。以上です。

7 閉会

教育長 以上をもちまして、本日の定例会を終了します。

【以上】